

住まいのはたらき

—世界の住まい—

世界の様々な住まいを見て、どこの地域・国のものかを考えることによって、その地域の気候風土や家族構成、生活スタイルによっていろいろな住まい方や工夫があることに気づかせたい。また、自分の生活と照らし合わせて、住まいのはたらきや役割を考えさせたい。

また、世界のさまざまな住まいを観察し考えさせることは、興味・関心を持って住生活の学習に入る導入としても適していると思われる。

1. はじめに

家庭分野の中で、学習したことを自分の家庭生活と照らし合わせてみると、住生活が一番難しいと感じる。問題が大きすぎて多すぎて自分だけの力では解決できないと考えてしまいがちである。しかも、子ども達の住まいはそれぞれの家庭環境で大きく差がある。広い一戸建ての住まい、集合住宅の一室に数人で暮らす住まい、施設などでは住まい方に大きな違いがあるだけでなく、それぞれの家庭状態などもみえてくるので人権的な配慮が必要である。また、住生活の学習はそうじ・片付けという印象が強く、興味や関心を持ってない生徒もいる。



しかし、住まいは家族の生活にかかわり、住まい方が健康や人の心にも大きく影響を与えている。ふだん長い時間何気なく暮らしている家、または建て替えなくては改善が無理だと思っている家も、ちょっとした工夫やアイデアで快適に楽しく住まうことができる。話し合いを通して快適に住むための工夫や改善点を考え、それぞれの家庭で実践して体感することは意義のあることである。

そこで、興味を持って住生活の学習を始められるよう導入の授業を考えた。国内外の家族と住まいの写真を見て、写っているものからどこの国・地域の住まいかを考えさせる。気候や暮らしを予想することにより、住まいのはたらきや役割に気づかせたい。また、日本という地域の住まいや間取りにつなげていきたい。

2. 指導計画（7時間扱い）

題 材	指導目標	指導内容	時
住まいのはたらき	○各地域の住まいを比較し、そのはたらきについて考えさせる。	・各地域の住まいの特徴を理解し、そのはたらきを知る。	1
		・簡単な図を用いて、必要な住空間を考える。	1
		・家族構成や暮らし方に応じた住まい方の工夫を考える。	1
快適な住まい	○快適な室内環境の整え方を理解させる。	・気温や湿度、気流を考え、快適な室内環境の整え方を知る。	1
健康で安全な住まい	○健康で安全な住まいについて考えさせる。	・汚れに応じて、清掃計画を立てる。	1
		・室内で起こる事故と原因について知り、安全な生活について考える。	1
これからの住生活	○環境に配慮した住生活について考えさせる。	・限りある資源を大切にし、自然エネルギーを活用した住生活を考える。	1

3. 題材名 住まいのはたらき～世界の住まい～
 4. 指導目標 各地域の住まいを比較し、そのはたらきについて考えさせる
 5. 展開

学習活動	支援上の留意点	評価・資料
1. 住まいについての学習 をすることを 知る。 2. 様々な住まいの写真を 見て、どこの国・地域 の住まいかを考える。 	<ul style="list-style-type: none"> ・家に帰りたいと思うときはどんな時か考えさせる。 ・休息、安心、安全、やすらぎなどの精神的なはたらきと生活、教育、看護などの機能的なはたらきの両面があることをおさえる。 ・写真は、世界のある国の経済的に中流家庭の家族と住まい、家財道具が写っていることを説明する。 ・小グループで1枚の写真を観察させる。 ・写真に写っているものを発表ボードに書き出し、どこの国・地域の住まいかの理由づけもさせる。 ・写真と発表ボードを黒板に貼り説明させる。 ・発表を聞いて思ったことや、他に考えられる国・地域があれば発表を促す。 ・どこの国の住まいか解説を加えながら説明する。 ・9か国の住まいの違いは、何の違いによるものか考えさせる。 (気候、風土などの自然条件とエネルギーや暮らしなどの社会制度) 	住まいの写真  発表ボード チョーク ・すすんで自分の考えを述べようとしたか。 [関・意・態] ・気候風土や家族構成・生活スタイルなどにより、いろいろな住まいがあることがわかったか。 [知識・理解] プリント
3. グループごとに発表させる。		
4. 住まいのはたらきをまとめる。		
5. 次時の学習内容や持ち物の確認をする。		

参考文献・参考Webページなど

- ・『地球家族』フォトランゲージ版 ERIC 国際機会教育センター
- ・写真集『地球家族－世界30か国のふつうの暮らし』
 マテリアルワールドプロジェクト、ピーターメンツェル著 近藤真理、杉山良男翻訳 TOTO 出版